けたとき、四人はならんでふん水をじーっとみてたそうです。そんなふうに、とっても仲がよかったのです。

そして、しばらくして、私は近くの幼稚園に行くことになりました。アンドリアもいっしょです。先生が歌をおしえてくれたり、お友だちといっしょにお昼寝したり。とっても楽しい所でした。幼稚園はとても好きでした。

おとうさんもおかあさんもキリスト信者なので、教会へ行くことになりました。その教会はとっても大きくて、日本の教会とは、くらべものにならないくらいです。そのころの私は、小さかったのであまりお話なんかは聞いていませんでした。でも、一つだけおぼえていることがあります。教会でクリスマスのとき、まずしい子どもたちへ、自分の家でいらなくなったものをプレゼントするということで子どもは何かもってくることになって、わたしは、木きんを寄付しました。今ごろあの木きんは、どうなっているかと思うとわくわくします。でも、他のむずかしいことは、ひとつもおぼえていません。教会が終わると同時に、別のへやへ行って、クッキーとのみものをもらいました。カナダの教会では、いつもそういうサービスをしていました。私にとっての教会の楽しみというと、そんなことぐらいしかありませんでした。

それからカナダには、ハロウィーンというおまつりがあります。子供たちがかぼちゃのなかみをくりぬいて、皮に目と鼻と口の形の穴をあけます。そして、中にろうそくを立てたりしてかざるのです。それで、夜になると変そうして、おとなの家へ行っておかしをもらうのです。その日は、私もおとうさんの車で、夜、いろんなおとなの家をまわりました。どこの家へ行っても、ぜったいおかしをくれるのです。おとなにとっては、くだらないことかもしれませんが、私たち子供にとっては、本当にうれしく、すばらしいことです。

あるとき、おとうさんの方の、おじいちゃんとおばあちゃんが、日本からはるばるうちに来てくれました。そのときは、本当になつかしく感じました。それから、おじいちゃんに聞いた話ですが、私たちはおじいちゃんとおばあちゃんにカナダを案内するために、きれいな野原へ行ったそうです。そして、小高い丘をかけたりおりたりしていると、知らないカナダの女の子が来たので、いつの間にか仲よしになって、二人でかけっこをしていたそうです。また、おかあさんの方のおばあちゃんも来てくれました。みんな、年をとっているのに、私たちに会いにカナダまで来てくれたのです。とてもうれしかったです。それに、おじいちゃんたちに、美しいカナダを見せてあげれて、本当にまんぞくです。

また、アンドリアたちといっしょに、あの有名なナイアガラの滝へも行きました。滝の中はほら穴みたいに通路ができていました。ぬれるので、そこを通るときは、黒い雨がっぱや雨ぐつをはくことになっていました。私は、あんまりおぼえていませんが、妹の映子はほんとによくおぼえているそうです。でも、私としても、一生のうちにあんな有名なところへ行ったというだけで自まんです。

冬の二月のことですが、カナダの冬はきびしく、とても寒いのです。そんなあるとき、おかあさんのおなかがふくらんできました。病院へ行くと、赤ちゃんが生まれる、というのです。そして、びっくりする間もなく、おかあさんは入院しました。その間、おかあさんがわりのお手伝いさんが来て、世話をしてくれました。そして、おとうさんもいっしょに、ときどき赤ちゃんの名前を考えました。赤ちゃんは女の子でした。とうとう「友子」ということに決まりました。カナダの国と日本の国を結んで友だちになる、という願いでつけたそうです。ある日、私が幼稚園から帰るとおかあさんも帰っていて、友子ちゃんがベッドに寝ていたのです。うれしくてうれしくて、いじくりまわすと、おかあさんにしかられてしまいました。とにかく、とってもうれしかったのです。

友子ちゃんが少し大きくなって、おとうさんの友だちの家へ行きました。そして、庭でバーベキューをしました。カナダのうちでなにかパーティーというと、たいていがバーベキューです。でも、私はバーベキューが好きだから、べつに困りません。ある家では、庭にプールがあります。私も、そこで遊びました。今考えると、そんな家がとってもうらやましく感じます。

二度目のクリスマスになりました。どの家のげんかんにも、大きなクリスマスツリーが立っていて、とても美しく見えます。アパートにすんでいる私たちは、家の中に大きくかざりました。でも、どこのツリーよりも大きくて美しいのは、パーラメント・ヒル（注・オタワの連邦議事堂）のツリーです。パーラメント・ヒルの時計のとうがあって、その前のしばふに雪がつもって、その中にとても大きなクリスマスツリー。今でも目に映るようです。ふだんでも美しいのに、クリスマスになるともっと美しくなります。パーラメント・ヒルは家からわりと近かったので、何回も行きました。カナダのクリスマスはとっても美しいのです。

冬になると、川も凍って、私たちは川ですべったりしました。おかあさんは、氷の上で、友子ちゃんを乳母車にのせて

ミラー家とは、家族ぐるみで仲良しになりました……。左端が容子さん。